

第2章 四街道市について

よびフォト

1 四街道市の概況

1 位置・地勢

四街道市は、都心から40km圏内にあり、県都千葉市や佐倉市に接し、千葉県のほぼ中央、「チーバくん」の“ほっぺ”の部分に位置しています。

市域は、東西7km、南北9km、面積は34.52km²とコンパクトながら、JR線（総武本線・成田線）をはじめ、広域幹線道路の東関東自動車道や国道51号が市域を横断しており、交通アクセスが良好です。JR線の快速(直通)では、四街道駅から東京駅まで約50分、成田空港へは約34分と短時間で行き来が可能です。車では、東関東自動車道の四街道ICから東京まで約60分、成田空港や幕張新都心へは約30分で行くことができるなど、通勤・通学や日々の暮らしに大変便利な位置にあります。

また、住宅地のすぐ近くには緑豊かな自然があふれ、里山の風景も残されて、ホタルも生息しているなど、都市と自然が調和するまちです。



2 あゆみ

- 明治 **22** 年
(1889) ● 現在の四街道市の前身である千代田村、旭村が誕生
- 明治 **27** 年
(1894) ● 県下初の鉄道として、総武鉄道が東京方面から、千葉経由で佐倉まで開通し、四街道駅が開設
- 昭和 **15** 年
(1940) ● 千代田村が町制を施行 
- 昭和 **30** 年
(1955) ● 千代田町と旭村が合併し、四街道町として町制を施行
- 昭和 **40** 年代～**50** 年代前半
(1965)～(1975) ● 旭ヶ丘グリーンタウン、千代田団地、みそら団地などの大型団地が整備され、首都圏の住宅都市として急速に人口が増加
- 昭和 **52** 年
(1977) ● アメリカ・リバモア市と姉妹都市締結
- 昭和 **56** 年
(1981) ● 県下28番目の市として市制を施行
- 昭和 **58** 年
(1983) ● 四街道市総合基本計画策定
『うるおいと活力のある市民生活都市』
- 平成 **6** 年
(1994) ● 四街道市総合計画策定
『緑と文化が創意を奏でる シンフォニックシティ四街道
—市民主役の躍動とふれあいのまち—』
- 平成 **13** 年
(2001) ● 市制施行20周年を記念し、「市民の日」を制定
「市の花 サクラソウ」を指定
市内循環バス「ヨッピー」運行開始 
- 平成 **17** 年
(2005) ● 四街道市総合計画策定
『ひかりあふれ 笑顔が明日をつむぐまち』 
- 平成 **22** 年
(2010) ● 第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体開催
四街道市は銃剣道競技会場に指定 
- 平成 **26** 年
(2014) ● 四街道市総合計画策定
『人 みどり 子育て 選ばれる安心快適都市 四街道』 
- 令和 **3** 年
(2021) ● 市制施行40周年を記念し、「シティセールスロゴマーク」を作成

3

市のPRポイント

四街道市は、都心からほど近く、通勤や多くの子育て世帯から選ばれ発展を続けて

人口
93,576人

増加率 県内**4位**

(H27→R2 4.9%)

〈令和2年国勢調査〉

人口増加継続中!

- 四街道市は、一貫して**人口増加傾向を維持**
- 転入が転出を上回る**社会増が継続中**
- コロナ禍である令和2年以降も年700人以上増加
- 平成27年～令和2年の人口増加幅は、平成7年以降で最大
- 人口増加の要因としては、通勤先が市内と近隣市で約7割と職住近接
- 東京都にも13%が通勤



2 みんなが四街道市を選ぶ理由はここ

手頃な
価格・賃料の住宅

46.2%

通勤・通学に
便利な立地

33.6%

日常生活
(買い物など)の
利便性

25.8%

〈令和3年度市民意識調査〉

3 みんなが感じる四街道市の住み心地

住み良い

79.0%

(H28→R3 +2.9ポイント)

住み続けたい

77.3%

(H28→R3 +1.0ポイント)

好き

74.7%

(H28→R3 +1.3ポイント)

〈令和3年度市民意識調査〉



日常生活に便利で、緑豊かな自然があふれるコンパクトな住宅都市として、おり、次のような魅力にあふれたまちです。

住み良さ

4 都市の便利さ、豊かな自然のバランスがちょうど良い!

公園・里山

- 四街道総合公園 (体育館、キャンプ場)
- 四街道中央公園
- 物井さとくらし公園
- 鷹の台公園
- 美しが丘近隣公園
- わらび近隣公園
- 千代田近隣公園
- 池花公園
- 市民の森^{※1}(栗山・物井)
- たろやまの郷^{※2}
- 冒険遊び場プレーパーク(出張プレーパーク)^{※3}

日常生活
(買い物など)の
利便性や
自然環境が魅力

〈令和3年度市民意識調査〉

5 みんながイメージする四街道市はここ

ホテルが
いる

水が
おいしい

買い物に便利

災害に
強い

自然と都市の
バランスが良い

ほっとする

空気が
きれい

自然が豊か

魅力的なお祭りや
イベントがたくさんある

〈よびくる会議〉

6 みんなが考える四街道市のキャッチコピー



市の魅力を伝えるキャッチコピーを市民等から募集し、採用された作品を横断幕として掲出

- チーバくんのほっぺ四街道 (R3)
- 子育てにキュン認知度にシュン四街道 (R3)
- 暮らし花まる四街道 (R4)
- ホテルがいる街よつかいどう (R4)
- えがお+しあわせ=よつかいどう (R5)
- 住まいにスマイル四街道 (R5)

アクセス

都内への
アクセス
抜群!

2 高速バスで 市内から

羽田空港まで 約90分
東京八重洲まで 約75分

利便性の
高い
交通環境

4 みんながイメージする 四街道市はここ

都心に一番
近いふるさと

都心への
アクセスが良い

JR線快速(直通)で 四街道駅から

品川まで 約68分(快速)
(成田エクスプレスで約54分)

東京まで 約50分(快速)
(成田エクスプレスで約31分)

船橋まで 約23分(快速)

千葉まで 約8分(快速)

成田空港まで 約34分(快速)
(成田エクスプレスで約27分)

車で 四街道インターチェンジから

東京まで 約60分
東関東自動車道~首都高速湾岸線

東京ディズニーリゾート®まで 約35分
東関東自動車道~首都高速湾岸線

成田空港、幕張新都心まで 約30分
東関東自動車道

通勤・通学に
便利

高速道路の
ICがある

バスの路線が
多い

〈よびくる会議〉

子育て

1

交流支援

- 子育て支援センター※1でのお悩み相談
- 児童センター※2での子どもと保護者の交流

年少人口割合
県内5位
(R2 13.5%)
〈令和2年国勢調査〉

2

保育支援

- 保育所の充実、待機児童※3数ゼロ
(令和5年4月1日時点)
- こどもルーム(学童保育所)※4を全小学校に設置
- ファミリー・サポート・センター※5を設置
- 病児・病後児保育室※6の設置

医療費支援

- 中学生まで医療費無料、高校生までの子どもの医療費負担300円
(非課税世帯無料)

4

教育支援

若いファミリー層の
転入が約7割
〈令和4年住民基本台帳データ〉

- 中学3年生の英語検定料の助成
- 小学1年生からの外国語(英語)教育
- 全小中学校にスクールカウンセラー※8を配置
- 各中学校に校内教育支援センター※9を設置
- 青少年育成センターにスクールソーシャルワーカー※10を配置

合計特殊出生率※7
県内3位
(R2 1.50)
〈千葉県HP「合計特殊出生率」〉

5

子育て世帯が感じる
四街道市の住み心地!

みんながイメージする
四街道市はここ

子育て
しやすい
80.1%

住み良い
85.4%

教育設備が
整っている

安全・安心

子どもが
多い

子どもたちが
住みやすい

〈令和4年度子育て世帯向けオンラインアンケート調査〉

〈よびくる会議〉

2 人口

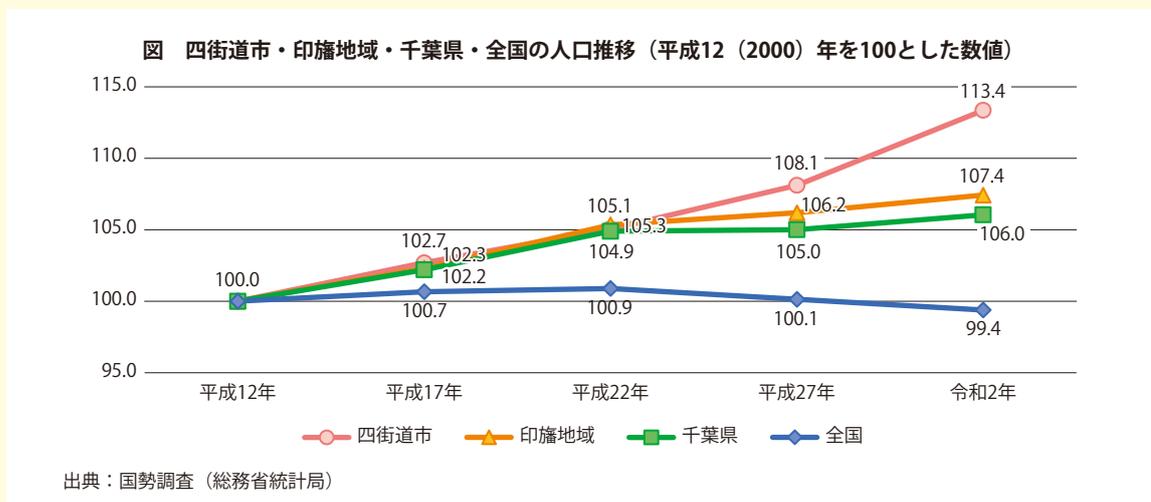
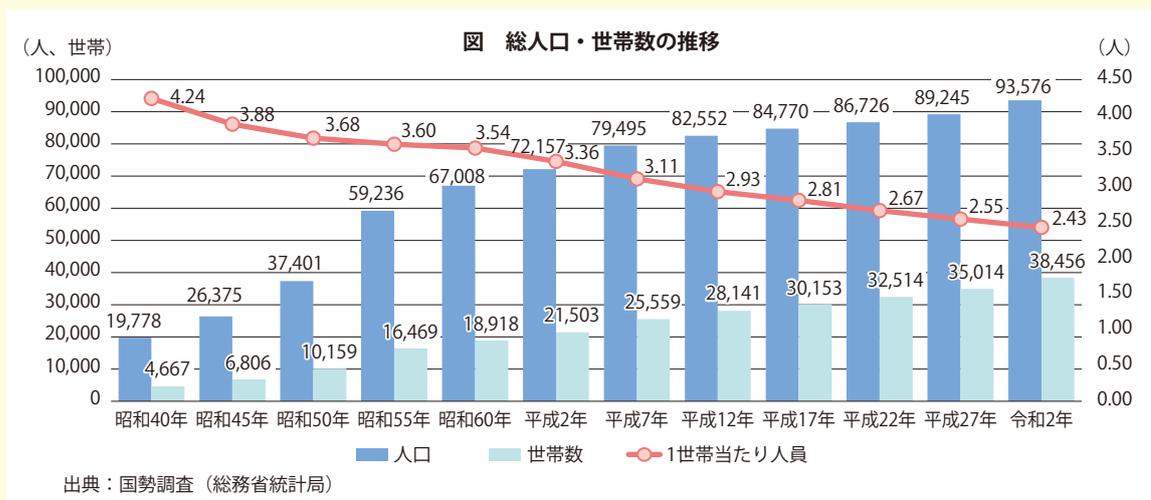
1

総人口及び年齢構成

四街道市の人口は、令和2（2020）年国勢調査によると、93,576人となっています。平成27（2015）年より約4,300人増加するなど、平成7（1995）年以降で最大の増加幅となっています。

また、千葉県・全国の人口推移と比較すると、全国は平成22（2010）年以降、人口減少が始まり、千葉県は人口がほぼ横ばいで推移する中、市は一貫して増加傾向を維持しています。

世帯数については、令和2（2020）年に38,456世帯となり増加傾向にありますが、1世帯当たり人員は減少傾向にあります。



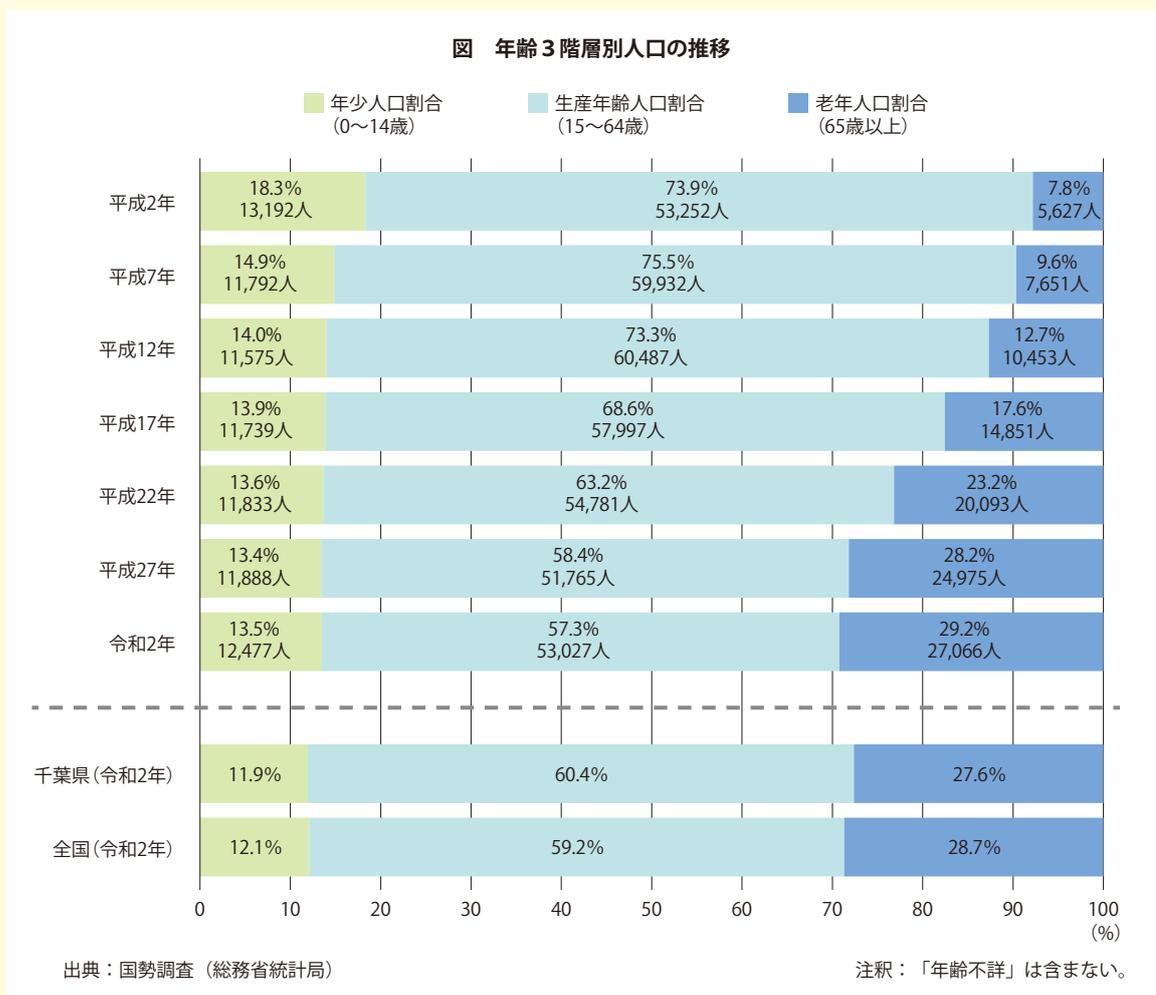
2

年齢階層別人口の推移

四街道市の年齢3階層別人口構成の割合は、令和2（2020）年に、年少人口（0歳から14歳）が12,477人の13.5%、生産年齢人口（15歳から64歳）が53,027人の57.3%、老年人口（65歳以上）が27,066人の29.2%となっています。

また、年齢3階層別人口推移をみると、老年人口は一貫して増加傾向であり、高齢化が進行しています。一方、年少人口は、近年、概ね横ばいで推移しており、少子化の進行には一定の歯止めがかかっています。生産年齢人口については、減少傾向が続いていましたが、令和2（2020）年には増加に転じています。

さらに、四街道市の令和2（2020）年の年齢3階層別人口構成を千葉県・全国と比較すると、年少人口割合（四街道市13.5%・千葉県11.9%・全国12.1%）と老年人口割合（四街道市29.2%・千葉県27.6%・全国28.7%）が高く、生産年齢人口割合（四街道市57.3%・千葉県60.4%・全国59.2%）が低い傾向にあります。

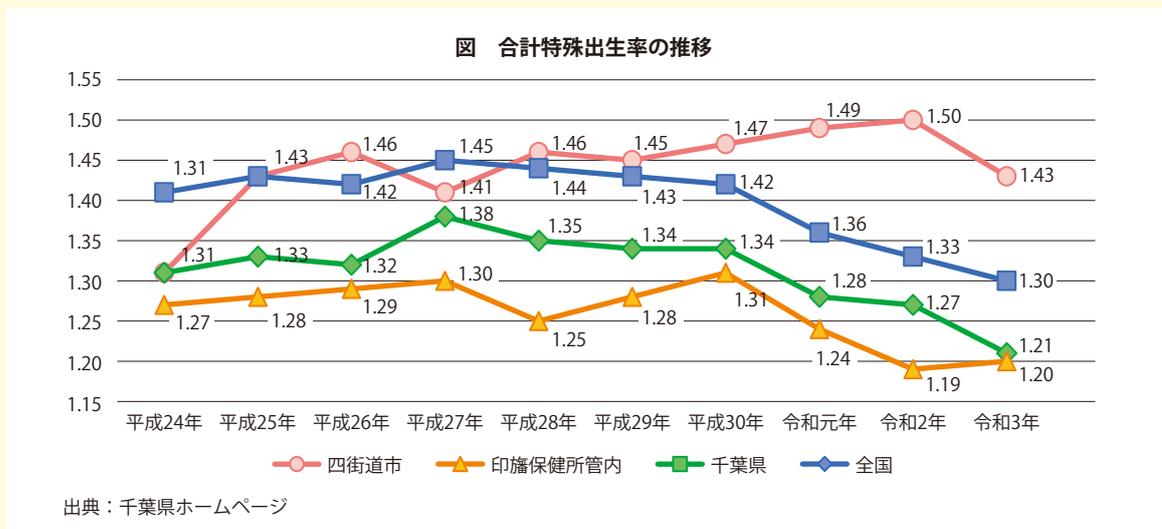
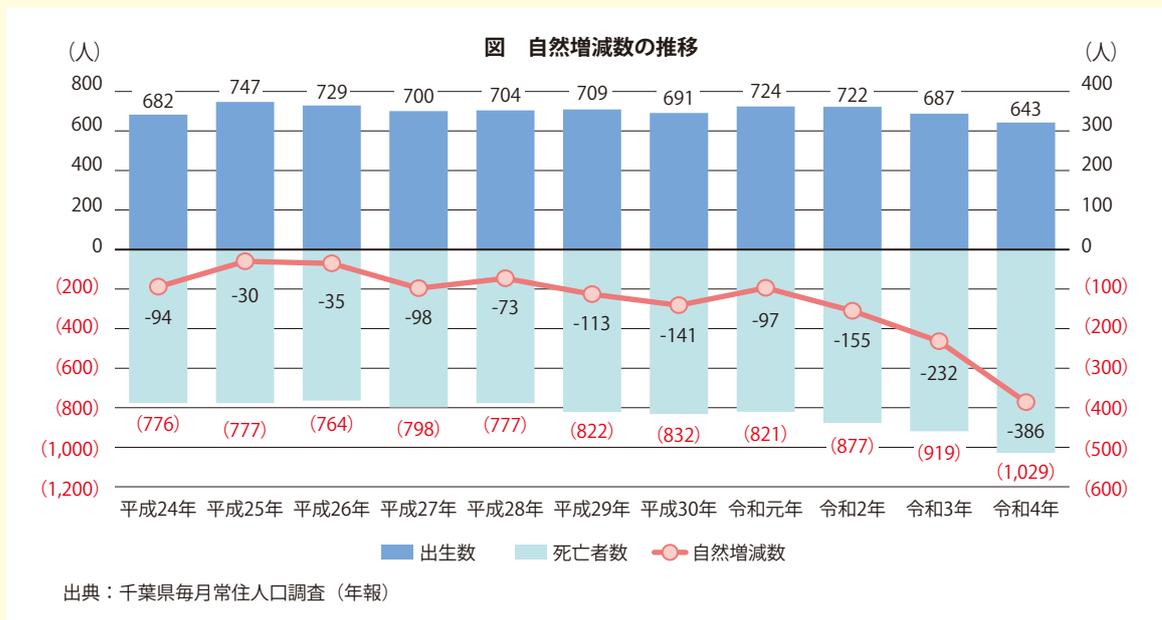


3

自然動態

四街道市の出生数は、近年700人前後で推移していましたが、令和3（2021）年以降減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症の影響も一因として考えられます。死亡数は、長期的に増加傾向となっており、死亡数が出生数を上回る自然減が平成24（2012）年から継続しています。

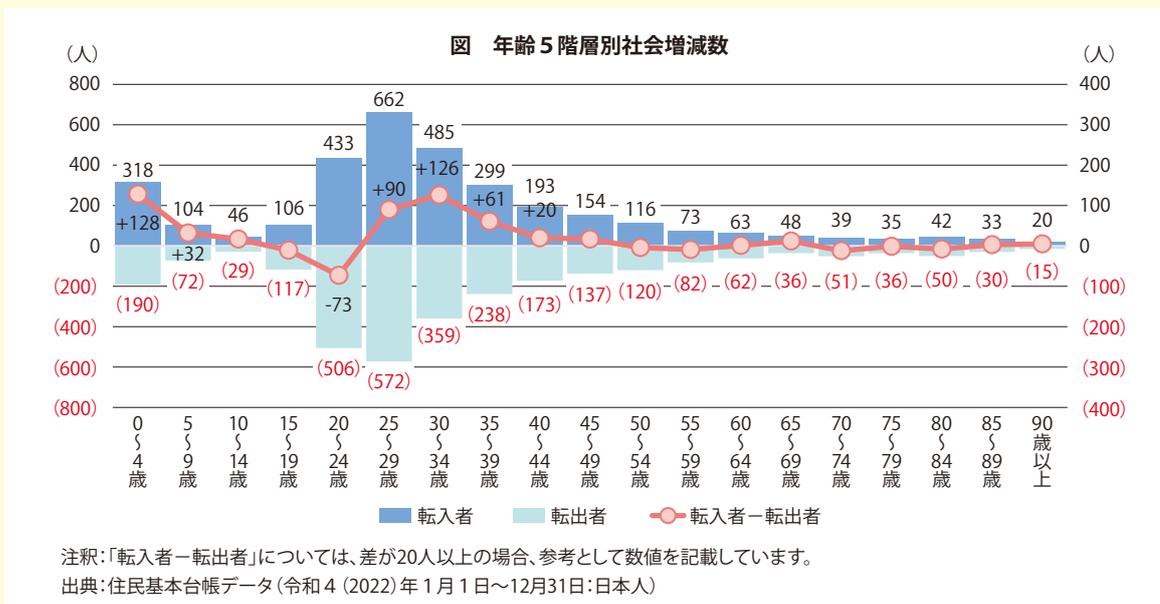
四街道市の合計特殊出生率^{*1}は、千葉県や全国を上回る水準で推移していますが、人口減少に歯止めのかかる水準（2.07程度）には、依然として大きな差があります。



4 社会動態

四街道市の社会動態は、転入者数が転出者数を上回る社会増を維持しており、新型コロナウイルス感染症の影響がある令和2（2020）年以降も、社会増は700人以上を維持しています。

また、年齢5階層別では、転入者のうち約72%が若いファミリー層（20代から30代と15歳未満）となっています。



5

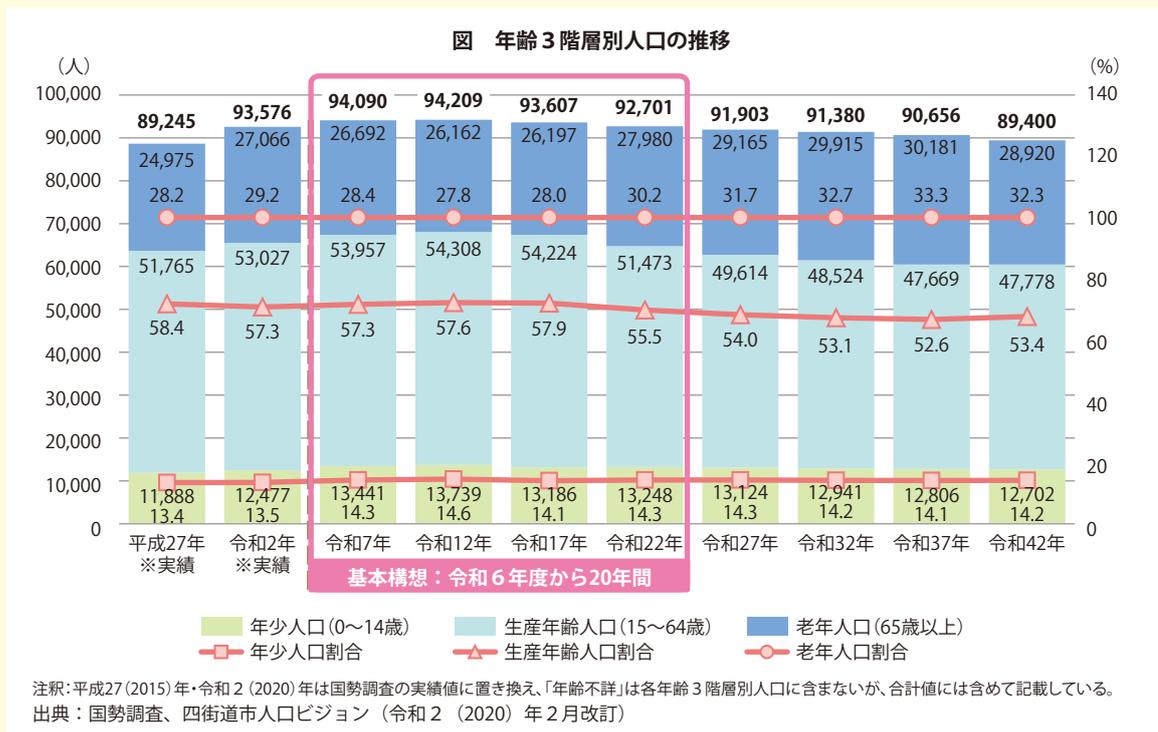
将来人口の見通し

四街道市人口ビジョン（令和2（2020）年2月改訂）における将来人口のシミュレーションでは、市の人口は、令和12（2030）年までは増加基調で推移するものの、日本全体の少子高齢化による人口減少に伴い、以降、四街道市においても人口減少に転じる見込みです。

また、年齢3階層別人口構成は、令和27（2045）年には、0歳から14歳が14.3%、15歳から64歳が54.0%、65歳以上が31.7%になるなど、今後20年間で、高齢化がさらに進むものと見込んでいます。

基本構想期間である令和6（2024）年度からの20年間では、令和2（2020）年と同程度の人口が維持される見通しになります。

令和22（2040）年 92,701人



将来人口についての考え方

四街道市では、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現に向け十分な支援を行い、自然動態の改善につなげることで、人口減少の歯止めにつながる可能性があります。

そのため、令和42（2060）年において、平成27（2015）年と同程度の人口を維持することを目指し、約90,000人を四街道市人口ビジョンの目標としています。

3 財政

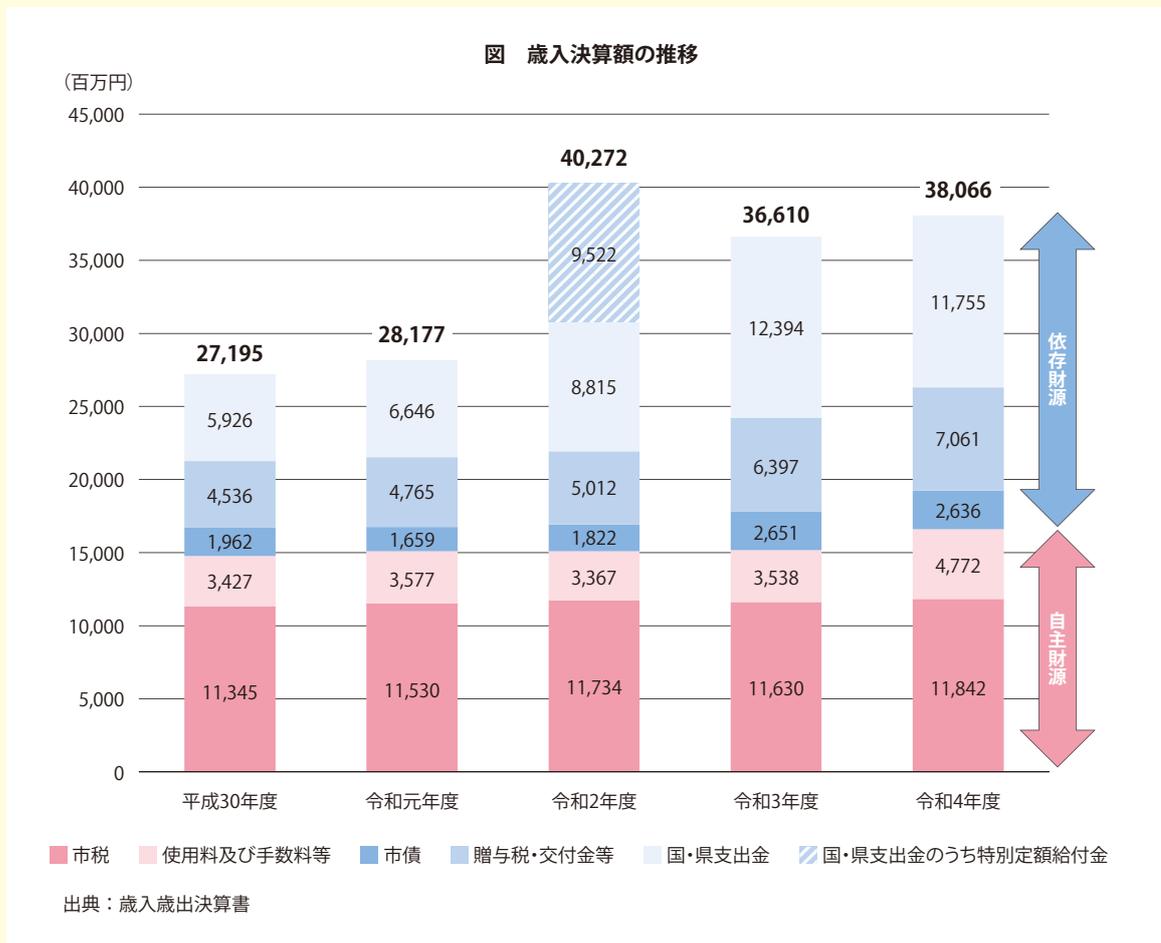
1

歳入決算額の推移

四街道市の令和4（2022）年度における一般会計の歳入決算額は、38,066百万円となっています。歳入決算額の主な内訳は、市民税、固定資産税等の市税が11,842百万円と全体の31.1%を占めています。また、市債は2,636百万円と全体の6.9%となっています。

歳入決算額の推移では、人口増加に伴い、令和元（2019）年度まではなだらかな増加傾向を示していましたが、令和2（2020）年度以降は特別定額給付金などの新型コロナウイルス感染症対応に関する国・県支出金が大幅に増加しています。

歳入の根幹をなす市税収入の見通しは、将来的に見込まれる人口減少やさらなる高齢化の進行などから、不透明な状況となっており、安定的な自主財源の確保が必要です。



2

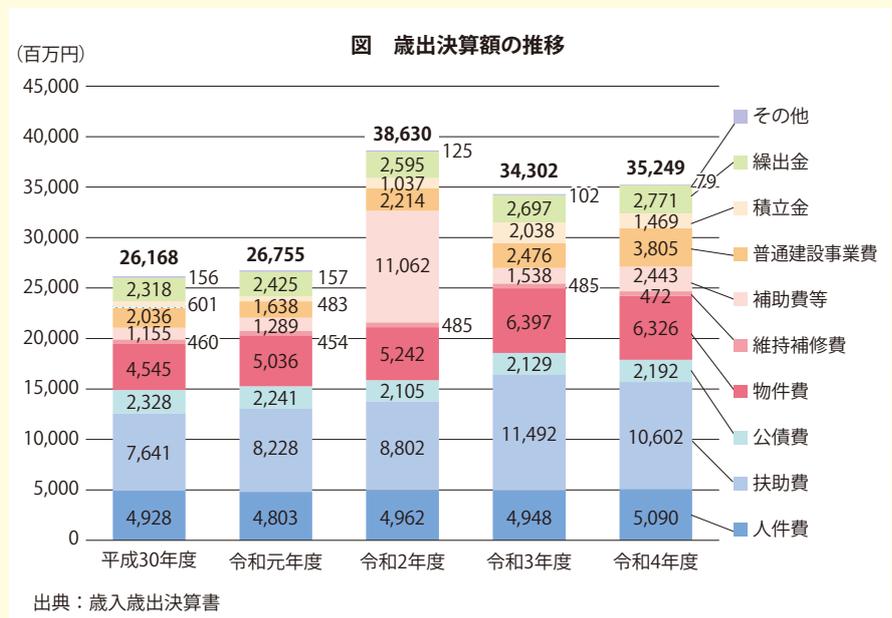
歳出決算額の推移

四街道市の令和4（2022）年度における一般会計の歳出決算額は、35,249百万円となっています。歳出決算額の主な内訳は、扶助費が10,602百万円と全体の30.1%を占めています。また、人件費は5,090百万円と全体の14.4%を占めています。

歳出決算額の推移では、令和元（2019）年度までは、なだらかな増加傾向で推移していましたが、令和2（2020）年度は特別定額給付金などの新型コロナウイルス感染症対応に関係する補助費等が大幅に増加しています。

経常的な経費については、高齢化の進行に伴う人口構成の変化による扶助費等の社会保障関係経費の増加や、原材料価格・光熱費の高騰などによる物件費の増加などが今後も見込まれています。

また、新庁舎の整備や公共施設の老朽化対策に伴う公債費の増加など、財政状況に影響を与える多様な課題に直面しており、厳しい財政運営が予測されます。



3

経常収支比率の状況

四街道市の経常収支比率^{*1}は、90%を超える高い水準で推移していましたが、令和3（2021）年度と令和4（2022）年度は、国からの普通交付税の増加などにより、80%台を維持しています。

今後、扶助費等の社会保障関係経費や物件費などの増加により、経常経費は増加することが見込まれることから、計画的な予算執行とさらなる行財政改革が必要です。

図 経常収支比率の推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
四街道市	96.4%	95.5%	93.1%	83.5%	88.9%
千葉県平均	92.1%	93.1%	91.2%	86.6%	—

出典：歳入歳出決算に係る主要施策の成果報告書

4 市民意見

総合計画の策定にあたり、市民からの魅力的なまちづくりのアイデアや四街道への想いを聴くため、以下のとおり、さまざまな方法で市民参加手続を実施しました。



《実施した市民参加手続》市民意識調査からタウンミーティングまでの概要

市民意識調査（令和3年10月）

市政に対する市民の意識を把握し、市の現状及び課題を抽出するため、市民意識調査を実施しました。

- 79.0%が、四街道市は『住み良い』
- 77.3%が、四街道市に『住み続けたい』
- 74.7%が、四街道市を『好き』

市長とよびと〜く～聞かせてくださいあなたの想い～（令和4年8月）

将来の理想のまちの姿やその実現に向けた取組等について、市長と意見交換会をオンラインにて実施し、5名の方が参加しました。

若者・子育て世帯向けオンラインアンケート調査（令和4年8月）

若者や子育て世帯の意向を把握することにより、市の現状及び課題を抽出するため、若者・子育て世帯向けオンラインアンケート調査を実施しました。

- 子育て世帯の80.1%が、四街道市は『子育てしやすい』
- 若者や子育て世帯が望む未来の四街道市の方向性は、『子育て』『教育』『健康』『安全・安心』の充実したまち

よびくる会議～これからの四街道市をみんなでつくる市民会議～（令和4年11月）

魅力あるまちづくりのためのアイデアや常日頃から感じている四街道への想いについて伺い、これからの四街道市をより良いまちにするため、各回異なる分野により全4回市民会議を実施しました。

25名の方が参加し、「これからの四街道市」について、提言をいただきました。

また、よびくる会議の一環として、理想とする「〇〇なまち」について、ポスターセッションを実施し、112件の意見がありました。

U-18よびディア選手権！～Make our Future of Yotsukaido～（令和5年3月）

市内在住、在学の18歳以下の方から広くアイデアを募集するため、アイデア募集を実施したところ、120件の提案があり、書類審査及びアイデア発表会を踏まえ、5組の受賞者を決定しました。

タウンミーティング（令和5年5月）

まちづくりの方向性を示す基本構想骨子（案）などについて説明するとともに、より良いまちにするため、オンライン及び市内2会場で全6回タウンミーティングを実施しました。

69名の方が参加し、82件の意見がありました。

1

市民意識調査

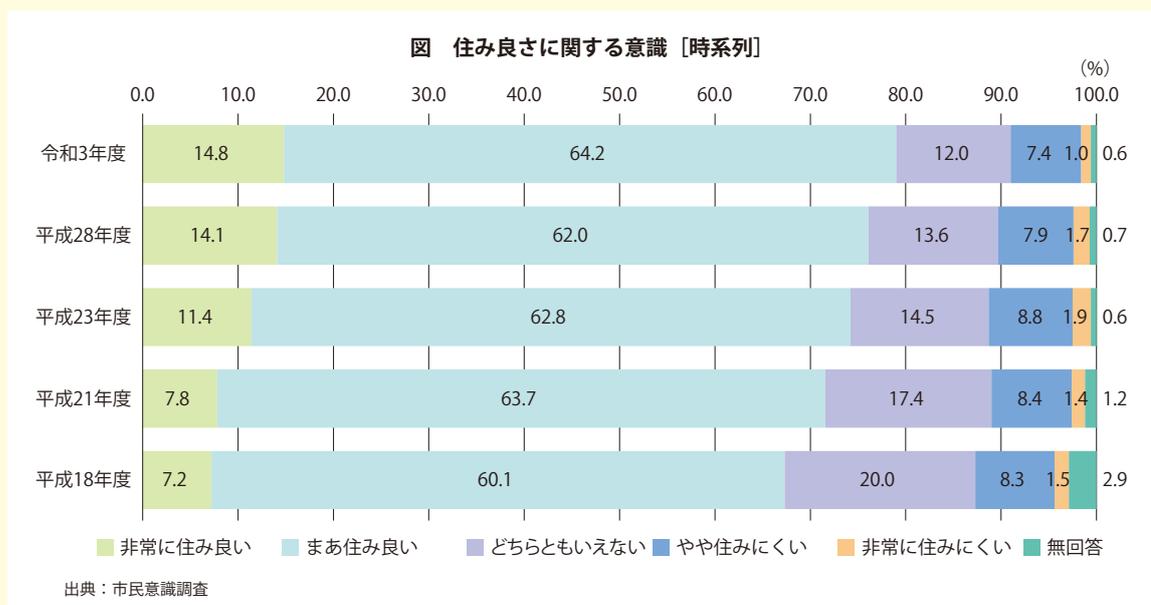
市政に対する市民の意識を把握し、四街道市の現状及び課題を抽出するため、令和3（2021）年度に市民意識調査を実施しました。市内在住の18歳以上の男女3,000人に対し調査票を郵送し、有効回答者数は1,671人、回答率は55.7%でした。

市の住み良さに関する意識

市民の79.0%が四街道市は『住み良い（「非常に住み良い」＋「まあ住み良い」）』と感じています。住み良いと感じている人の割合は年々高まっています。

平成28（2016）年度調査と比較すると、2.9ポイント増加しています。

年代別では、すべての年代で『住み良い』が75%を超えており、特に30代から50代が高くなっています。

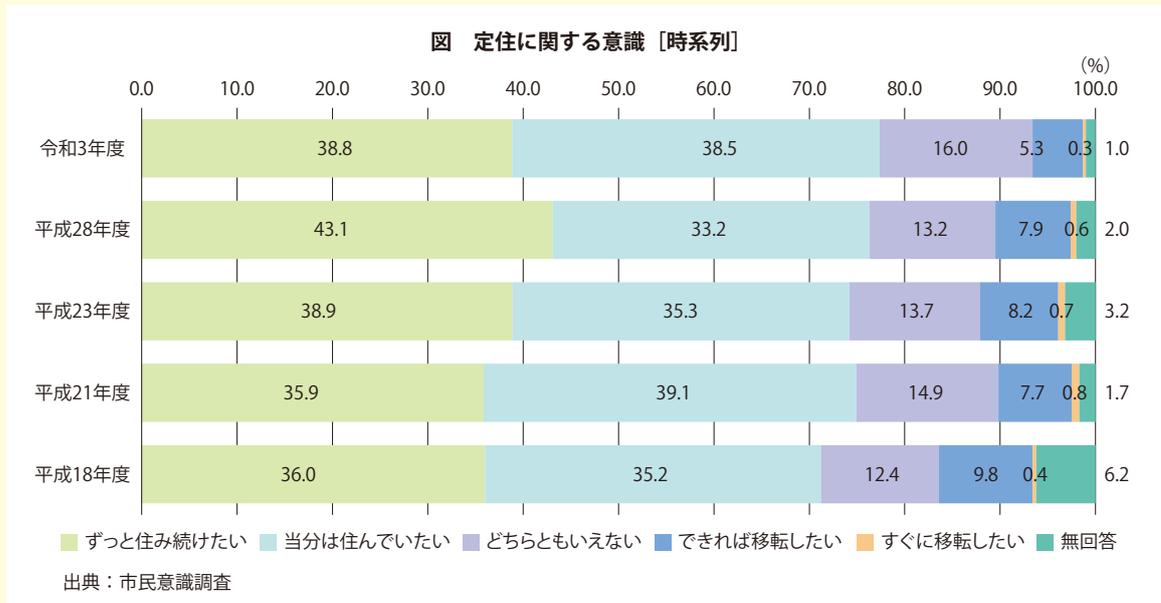


定住に関する意識

市民の77.3%が四街道市は『住み続けたい（「ずっと住み続けたい」＋「当分は住んでいたい」）』と感じています。住み続けたいと感じている人の割合は高まっています。

平成28（2016）年度調査と比較すると1.0ポイント増加しています。

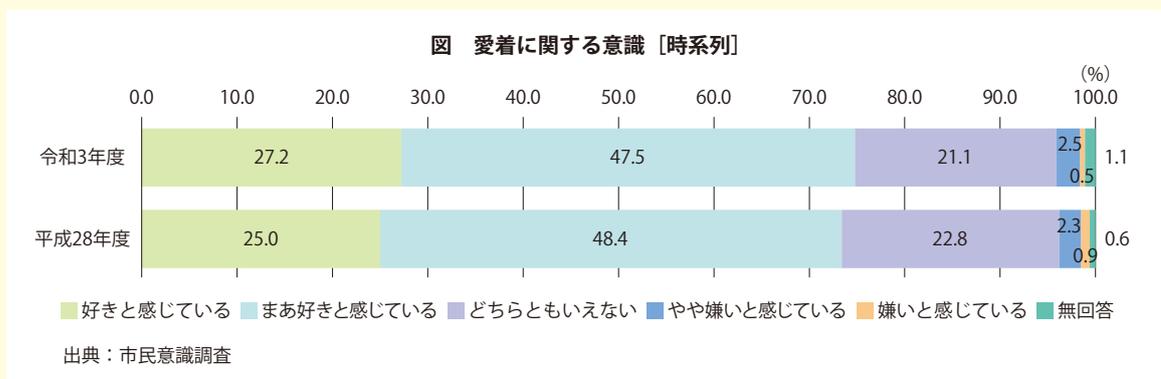
年代別では、30歳以上で75%を超えているのに対し、20歳代以下は60.5%と他の年代に比べて低くなっています。



愛着に関する意識

市民の74.7%が四街道市を『好き（「好きと感じている」＋「まあ好きと感じている」）』と感じています。好きと感じている人の割合は高まっています。

平成28（2016）年度調査と比較すると1.3ポイント増加しています。

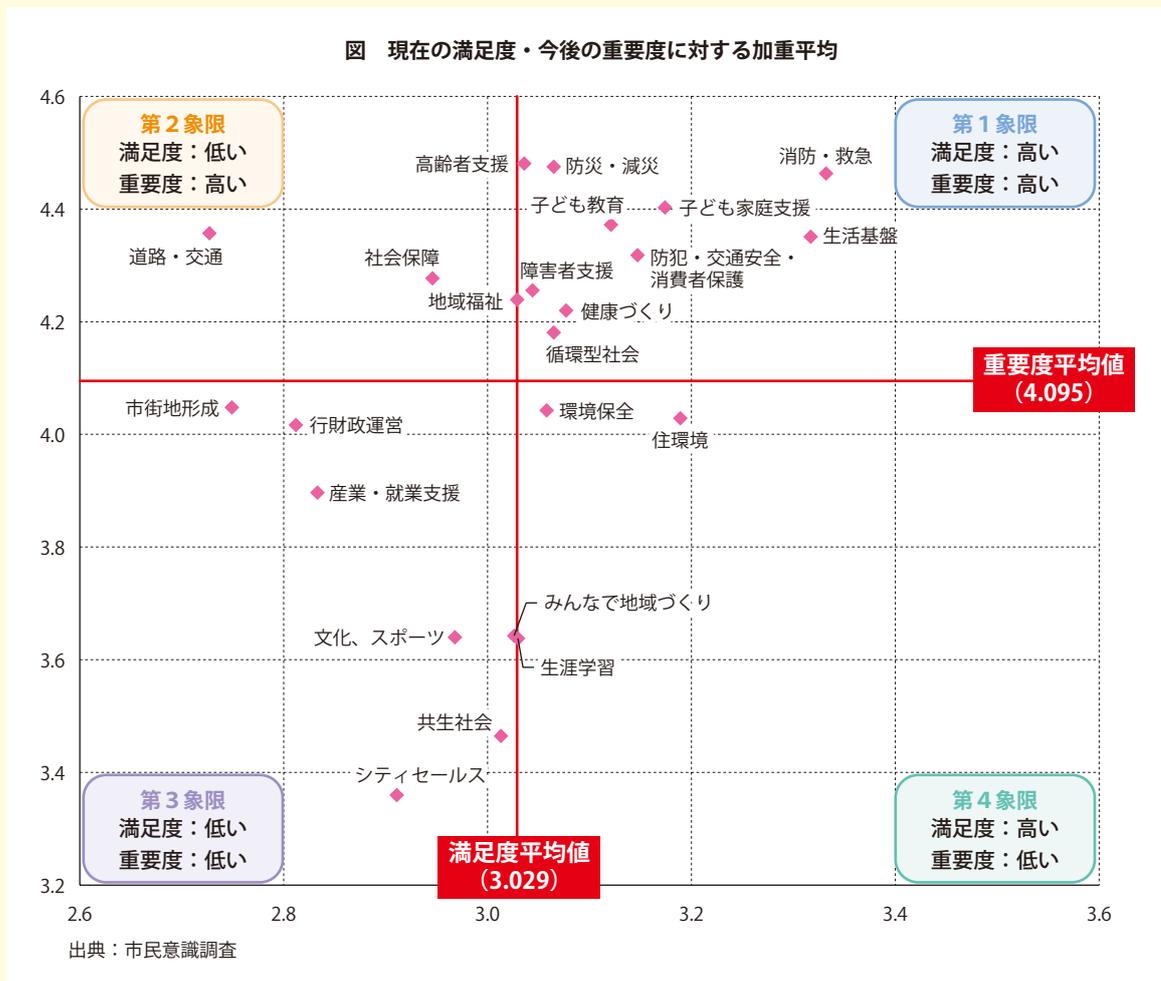


施策分野の満足度・重要度

市民意識調査では、後期基本計画（前総合計画基本計画）における23の施策分野について、現在の満足度と今後の重要度を伺いました。

施策分野ごとの満足度・重要度をみると、【満足度・重要度ともに高い分野】には、「消防・救急」、「生活基盤」、「防犯・交通安全・消費者保護」などに関する分野、また「子ども家庭支援」や「子ども教育」などに関する分野が挙げられ、これらの施策は引き続き市民ニーズを満たすことが必要です。

一方、【満足度は低く重要度が高い分野】には、「道路・交通」など都市基盤整備に関する分野、「社会保障」などに関する分野が挙げられ、これらの施策は今後、市民ニーズに対応していく必要があります。



2

若者向けオンラインアンケート調査

四街道市に在住の若者の現状や意識を把握するため、令和4（2022）年度にオンラインによるアンケート調査を実施しました。

市内在住の15歳から29歳の男女1,500人に対し調査依頼書を郵送し、有効回答者数は421人、回答率は28.1%でした。

結婚の希望

若者の70.8%が『結婚したい（「ぜひ結婚したい」＋「できれば結婚したい」）』と思っています。

一方、「結婚するつもりはない」は、10.9%となっています。

また、結婚していない理由として、『結婚したい』と回答した人のうち、「結婚したいと思える相手がいない」が40.0%となっています。

図 結婚の希望

	回答者数（人）	構成比（%）
1 ぜひ結婚したい	140	41.3
2 できれば結婚したい	100	29.5
3 結婚するつもりはない	37	10.9
4 今はまだわからない	62	18.3
無回答	—	—
全体	339	100.0

出典：若者向けオンラインアンケート調査

図 結婚しない理由

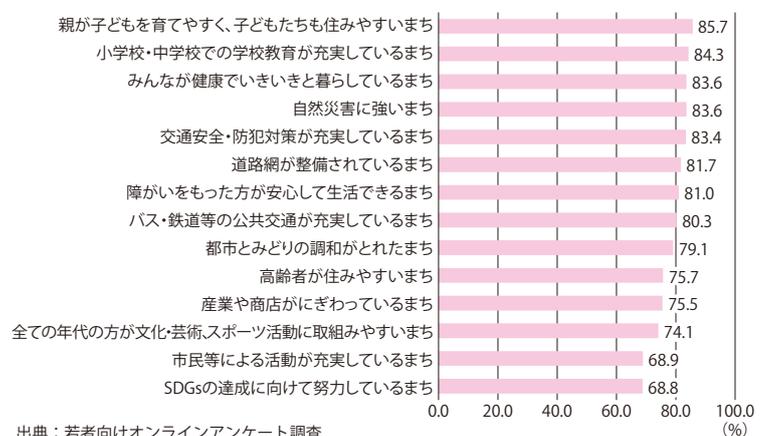
	回答者数（人）	構成比（%）
1 結婚するにはまだ若すぎるから	14	14.7
2 今は結婚する必要性を感じないから	13	13.7
3 今は仕事や学業に打ち込みたいから	17	17.9
4 今は趣味や娯楽を楽しみたいから	7	7.4
5 今は独身の自由さや気楽さを失いたくないから	19	20.0
6 結婚したいと思える相手にめぐり合わないから	38	40.0
7 異性と上手く付き合えないから	10	10.5
8 結婚資金が足りないから	22	23.2
9 結婚生活を送る住宅の目処がたたないから	3	3.2
10 交際している相手はいるが、結婚まで至っていないから	19	20.0
11 その他	1	1.1
無回答	—	—
全体	163	171.7

出典：若者向けオンラインアンケート調査

未来の四街道市の方向性

これからの四街道市のイメージについて、『思う（「そう思う」＋「ややそう思う」）』の割合は、「親が子どもを育てやすく、子どもたちも住みやすいまち」が85.7%、「小学校・中学校での学校教育が充実しているまち」が84.3%、「みんなが健康でいきいきと暮らしているまち」が83.6%、「自然災害に強いまち」が83.6%、「交通安全・防犯対策が充実しているまち」が83.4%となっています。

図 未来の四街道市の方向性



3 子育て世帯向け オンラインアンケート調査

四街道市に在住の子育て世帯の現状や意識を把握するため、令和4（2022）年度にオンラインによるアンケート調査を実施しました。

市内在住の18歳から49歳の子どもがいる男女1,500人に対し調査依頼書を郵送し、有効回答者数は594人、回答率は39.6%でした。

四街道市は子育てしやすい地域だと思うか

子育て世帯の80.1%が四街道市は『子育てしやすい地域（「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」）』と感じています。

図 四街道市は子育てしやすい地域だと思うか

		回答者数 (人)	構成比 (%)
1	そう思う	122	20.5
2	どちらかといえばそう思う	354	59.6
3	どちらかといえばそう思わない	72	12.1
4	そう思わない	15	2.5
	無回答	31	5.2
	全体	594	100.0

出典：子育て世帯向けオンラインアンケート調査

理想の子どもの人数

理想とする子どもの人数は、「2人」が47.0%と最も高く、次いで「3人」が35.0%となっています。「3人」35.0%、「4人」3.2%、「5人以上」2.0%を合わせた『3人以上』は、40.2%となっています。

図 理想の子どもの人数

		回答者数 (人)	構成比 (%)
1	1人	31	5.2
2	2人	279	47.0
3	3人	208	35.0
4	4人	19	3.2
5	5人以上	12	2.0
6	具体的には考えていない	32	5.4
	無回答	13	2.2
	全体	594	100.0

出典：子育て世帯向けオンラインアンケート調査

子育てしやすい理想のまち

子育てしやすい理想のまちについては、「治安が良い」が48.5%と最も高く、次いで「医療機関が充実している」45.3%、「日常生活（買い物等）の利便性が高い」41.4%となっています。

